

課題

- 事業者・地域毎に、ユニバーサルサービス・バリアフリー情報が点在しており、移動躊躇層※が利用しづらい。また、MaaSプラットフォームが各所に存在するが移動躊躇層向けの情報がない
 - 移動躊躇層の移動データがなく、自治体・事業者の対応施策が打ちづらい
 - 移動躊躇層が観光地で必要とする情報が各地で統一されておらず利用されていない
- 上記の社会課題を解決することで、「誰もが移動をあきらめない世界」の早期実現に繋げることが可能になる。

※障がいや高齢など、何らかの理由により移動にためらいのある方々

プロジェクト概要

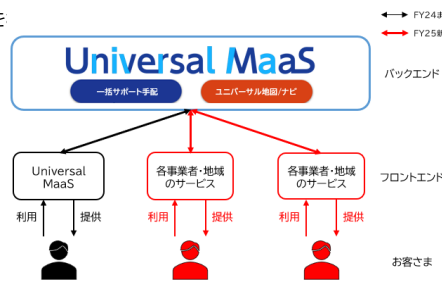
1. 交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)

(1)一括サポート手配(交通移動/宿泊/観光サービス向け)

- ①2024年度に抽出した課題を解決し、社会実装を目指す
- ②事前手配サービス非保持の事業者向けに個社単独手配機能を
- ③一括サポート手配の対象に新規事業者(上記①含む)を追加するための接続インターフェース(外部API)を構築

(2)ユニバーサル地図/ナビ(徒歩区間向け)

- ①2024年度に抽出した課題を解決し、サービス向上を図る
- ②市区町村単位での導入のみならず、都道府県単位や各地域のMaaSへの導入を前提にした仕組みを構築
- ③接続インターフェース(URLパラメータ制御)を構築し、各地域のMaaSコンテンツから遷移可能とする



2. モビリティ・データの取得と活用

- (1)事業者向け活用策:「一括サポート手配」のログデータを取得し、事業者のバリアフリー施策で活用可能にする。
(例:人員/車両配置/サポート対応/宿泊施設の販売プラン[ソフト面]、施設改修の優先度付け[ハード面])
- (2)自治体向け活用策:「ユニバーサル地図/ナビ」のログデータを取得し、自治体のバリアフリー施策(観光、まちづくり、防災等、ソフト&ハード両面の整備の優先度付け等)で活用可能にする。
- (3)お客さま向け活用策:「ユニバーサル地図/ナビ」を導入しているエリアのGTFSを取得し、当該エリアのバス・路面電車の低床車両の位置を地図上で可視化、移動躊躇層の徒歩移動と交通をシームレスに繋ぐことで、「地域の足」「観光の足」確保による周遊促進やオーバーツーリズム対策として活用可能にする。

3. エンドコンテンツとの連携

- (1)一括サポート手配 ……移動躊躇層向けの宿泊手配、観光ガイド手配の対象事業者を増やすべくUI/UXを見直す
- (2)ユニバーサル地図/ナビ ……他MaaSや観光地へ提供、利用シーン拡大(観光イベント、防災等に活用)

効果

- 各事業者・地域のサービスが接続インターフェースを介してUniversal MaaSと繋がることで、広域かつユニバーサルなMaaSプラットフォームが構築される
- 移動躊躇層の移動データを用いたバリアフリー施策が、自治体や事業者にて可能となり、ソフト及びハード両面でのバリアフリー整備や移動需要喚起に繋がる

事業の新規性

- 各事業者・地域のサービス向けに、Universal MaaSの接続インターフェースを構築することで、全国のMaaSへユニバーサルなサービスが提供可能となる
- 移動躊躇層の移動データを事業者及び自治体に提供することで、上記データに基づくバリアフリー施策等の立案が可能となる

事業エリア/交通事業

エリア:横須賀市、札幌市、旭川市、千歳観光連盟、松山市、台東区、渋谷区、太宰府市、長崎県、静岡県
事業者:航空:ANA、他 / 鉄道:JR九州、他 / 宿泊:新規100施設(目標) / その他、既存の産学官連携パートナーを想定

MaaSアプリ等

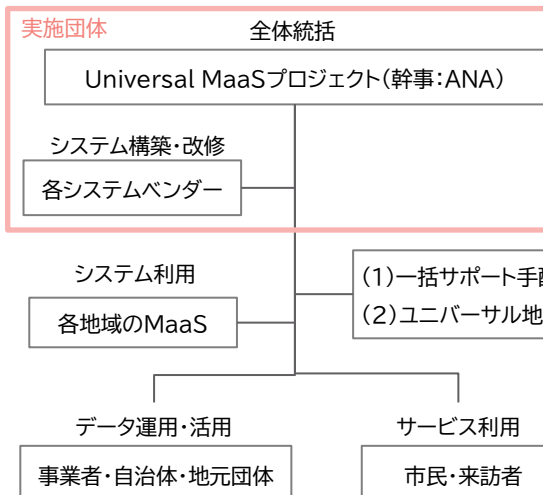
- MaaSプラットフォーム: Universal MaaS⇔他MaaS(九州MaaS等)
- フロントエンド:スクラッチ開発
- 経路検索:駅すばあと(交通)、いつもNAVI(徒歩)をベースにスクラッチ開発
- 介助手配サービス:「一括サポート手配」
- バリアフリーマップ:「ユニバーサル地図/ナビ」
- ダッシュボードシステム:スクラッチ開発(予定)

データの活用等

- データの取得方法:「一括サポート手配」「ユニバーサル地図/ナビ」のログデータや「ユニバーサル地図/ナビ」導入エリアのGTFSを取得
- データの活用方法:以下のモビリティ・データをもとに事業者・自治体のバリアフリー施策に活用
・「一括サポート手配」……手配数(鉄道は乗降数も)、移動躊躇層のODデータ、サポート情報等
・「ユニバーサル地図/ナビ」……移動躊躇層の徒歩ODデータ、バリアフリースポット情報閲覧データ等

座組

スケジュール



4～6月 要件定義

7～10月 システム開発・テスト

11月～2月 実証実験、効果測定

システム利用

- (1)一括サポート手配:交通/宿泊/観光事業者
- (2)ユニバーサル地図/ナビ:自治体・地元団体

データ運用・活用

サービス利用

事業者・自治体・地元団体

市民・来訪者